



千葉労働動向

「JR体制」を追いつめた 木戸地労委闘争の勝利

すでに既報のとおり、六月一九日千葉県地方労働委員会は、千葉運転区支部木戸君に対する組合脱退強要事件について、組合側主張を全面的に認める勝利命令を交付した。JR東日本は、ただちに力村人事部長談話を発

「密室」のなかでの脱退強要の事実をはつきりと認定!

とりわけ、この事件は、木戸君が外向から復帰するに際しての「面談」の場面における組合脱退強要事件であり、いわば「密室」の中での不当労働行為であった。

われわれは、この密室の中での出来事を立証するために、この間のJRによる差別・選別、不当労働行為の数々を全面的に暴き出して、闘いを進めてきた。強制配転・昇進差別・採用差別・運転士登用差別・勤労千葉組

表し、「取り消しを求めよ」と、またもや地労委命令不履行の態度を明らかにしている。しかし、この勝利は、「JR体制」をまた一歩確実に追いつめる極めて大きな勝利である!

合員だけを狙いうちにした乗務停止攻撃、不当処分、団交での極めて不誠実な対応など、極めて多岐にわたる立証は、ぐうの音も出ないまでにJR当局を追いつめ、地労委は「密室」の中での出来事についても、組合主張どおりに認定したのである。

つまり、JR当局の日常的な不当労働行為は、それほどまでにデタラメ、露骨に行われていることが、暴き出されたのだ。

「JR体制」を突き崩す蟻の一穴

また、この勝利は昇進・登用など、現在様々な場面で露骨に行われている

る、面談等を利用した組合脱退強要攻撃の一端を社会的に暴き出した。

木戸君に対する脱退強要は、氷山の一角にすぎない!しかし、この氷山の一角を暴き出した今回の勝利は、その背景にある膨大な、不当労働行為を毎日のように続ける「JR体制」を突き崩す蟻の一穴となるものである。この勝利をバネに、さらに全力で闘いの道を進もう!

脱退強要の実行者・河野・土岐・川名・福島を許すな

この地労委命令の中で、不当労働行為の実行者として、名前が登場する人物が四名いる。

ひとりには、言うまでもなく河野だが、後の三人は、土岐千葉運転区長、川名当時千葉運転区長(現在外向)そして、福島千葉運転区助役である。われわれは、この四名

東鉄労と相通じて 脱退強要を行った ことを認定!

さらに、第三の成果は、この地労委の命令書では、脱退強要が千葉支社と東鉄労(当時)が相通じて行われたものであることがはつきりと認定されていることである。地労委は、JR総連革マルと結託したJRの異常な体制をはつきりと指摘し、弾劾しているのである。

が、組合と木戸君に対して、はつきりと謝罪することを求める。とりわけ土岐千葉運転区長がこの間、まったく非常識な、組合潰し攻撃をくりひろげていることを断じて許すことはできない!土岐区長は木戸君に対して、かつてスト破りをし、国労を脱退したこと

を得々として、自慢しながら脱退強要を行ったというのである。何と見ればはた人物か!われわれは、この地労委での勝利をステップとして、土岐区長による組織破壊攻撃を粉砕するために、さらに闘いを強化する決意である。

7月1日 9時から

家族・友人を
さそって地引き
網に集まろう。

勤労千葉サークル協会の
地引き網大会



日時 7月1日 9時

場所 一ツ松海岸